

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社
 コード番号 8006 URL <http://www.y-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸澤 隆芳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 森 雅俊
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 047-433-1212

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	88,773	△2.9	1,163	△16.5	1,236	△14.6	743	34.1
21年3月期第3四半期	91,386	—	1,393	—	1,448	—	554	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	16.15	—
21年3月期第3四半期	12.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	50,052	21,429	42.1	457.85
21年3月期	46,171	20,915	44.5	446.12

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 21,067百万円 21年3月期 20,530百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	8.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,500	0.9	1,700	2.4	1,800	1.4	900	△21.4	19.56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 ホテルサンライト株式会社) 除外 1社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 48,977,231株 21年3月期 48,977,231株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,963,930株 21年3月期 2,955,841株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 46,019,099株 21年3月期第3四半期 46,031,350株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、一部に景気の持ち直しが見られるものの、企業収益の落ち込みや雇用情勢の悪化が続くなど依然厳しい状況にありました。

食品流通業界におきましても、消費者の節約志向の高まりから低価格品へのシフトが続くなど、依然として厳しい状況にありました。

また、ビジネスホテル業界におきましても、景気低迷によりビジネス利用客が低迷する中、競争は一段と激化いたしました。

このような状況の中で当社グループは、商事部門では卸売機能の強化、新規取引の獲得を図ってまいりました。また、ホテル部門ではホテルサンライト新宿（東京都新宿区、197室）を平成21年10月に取得し、東京エリアでの顧客基盤の拡充に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高887億73百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益11億63百万円（前年同期比16.5%減）、経常利益12億36百万円（前年同期比14.6%減）となりました。また、四半期純利益は、前年同期に計上した固定資産処分損、減損損失が減少したことなどから7億43百万円（前年同期比34.1%増）となりました。

事業別セグメントの概況

①商事部門

商事部門の売上高につきましては、食品では加工食品、酒類、菓子類が増加し前年同期並みとなりました。業務用商品では小麦粉、油脂など原料取引が市況低迷による価格下落により減少し前年同期を下回りました。飼料畜産では飼料、畜産とも販売数量は増加しましたが、価格が低迷し前年同期を下回りました。米穀では家庭用精米は増加しましたが、業務用精米、玄米が減少し前年同期を下回りました。その結果、売上高は853億79百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

②ホテル部門

ホテル部門につきましては、ホテルサンライト新宿の取得による増収がありましたが、ビジネス利用客の低迷が続くなど大変厳しい状況にありました。その結果、売上高は28億37百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

③不動産部門

不動産部門につきましては、売上高は5億57百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少12億74百万円、受取手形及び売掛金の増加33億23百万円、土地の増加12億63百万円などにより、前連結会計年度末に比べ38億81百万円増加し500億52百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加28億65百万円、短期借入金の増加13億55百万円、未払法人税の減少6億19百万円などにより、前連結会計年度末に比べ33億67百万円増加し286億22百万円となりました。純資産は前連結会計年度末に比べ5億13百万円増加し214億29百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益12億20百万円、売上債権の増減額△33億円、仕入債務の増減額28億63百万円、法人税の支払額△9億84百万円等により85百万円（前年同期比2億84百万円増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出△3億63百万円、子会社株式取得による支出△14億75百万円等により△18億23百万円（前年同期比16億71百万円減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の増減額8億72百万円、長期借入による収入4億5百万円、長期借入の返済による支出△3億91百万円、配当金の支払額△3億68百万円等により4億65百万円（前年同期比8億5百万円増）となりました。その結果、現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末に比べ13億5百万円減少し24億73百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期以降につきましても、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、連結業績予想につきまして変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間よりホテルサンライト株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1. 一般債権の貸倒見積高の算定

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと考えられるため、第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等の合理的な基準を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

3. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結貸借対照表)

「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日 内閣府令50号）の適用に伴い、前第3四半期連結会計期間において、「商品」「製品」「原材料」「貯蔵品」として掲記されていたものは、当第3四半期連結会計期間は「商品及び製品」「原材料及び貯蔵品」と一括して掲記しております。なお、当第3四半期連結会計期間に含まれる「商品」「製品」「原材料」「貯蔵品」はそれぞれ1,900百万円、26百万円、397百万円、4百万円であります。

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「為替差損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「為替差損」は9百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,533	3,807
受取手形及び売掛金	16,749	13,425
有価証券	5	4
商品及び製品	1,926	1,770
仕掛品	60	35
原材料及び貯蔵品	401	653
繰延税金資産	19	102
未収入金	2,451	2,157
その他	202	92
貸倒引当金	△164	△131
流動資産合計	24,186	21,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,634	11,994
減価償却累計額	△8,813	△7,318
建物及び構築物(純額)	4,820	4,675
機械装置及び運搬具	1,740	1,687
減価償却累計額	△1,350	△1,296
機械装置及び運搬具(純額)	389	391
土地	10,614	9,351
その他	1,566	1,115
減価償却累計額	△1,028	△853
その他(純額)	537	262
有形固定資産合計	16,361	14,680
無形固定資産		
ソフトウェア	321	407
その他	180	135
無形固定資産合計	502	543
投資その他の資産		
投資有価証券	5,247	4,974
長期貸付金	520	583
繰延税金資産	754	1,025
差入保証金	2,479	2,448
その他	598	538
貸倒引当金	△598	△540
投資その他の資産合計	9,002	9,030
固定資産合計	25,866	24,254
資産合計	50,052	46,171

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,974	15,108
短期借入金	6,334	4,979
未払法人税等	24	644
賞与引当金	30	95
その他	1,634	1,379
流動負債合計	25,999	22,206
固定負債		
社債	—	50
長期借入金	1,033	1,503
退職給付引当金	543	515
長期未払金	222	237
役員退職慰労引当金	16	15
負ののれん	76	75
その他	731	650
固定負債合計	2,623	3,048
負債合計	28,622	25,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	10,159	9,784
自己株式	△621	△619
株主資本合計	20,713	20,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	353	190
評価・換算差額等合計	353	190
少数株主持分	362	384
純資産合計	21,429	20,915
負債純資産合計	50,052	46,171

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	91,386	88,773
売上原価	82,134	79,787
売上総利益	9,252	8,985
販売費及び一般管理費	7,858	7,821
営業利益	1,393	1,163
営業外収益		
受取利息	32	27
受取配当金	87	97
その他	93	70
営業外収益合計	213	195
営業外費用		
支払利息	105	73
デリバティブ評価損	30	9
為替差損	—	33
その他	22	6
営業外費用合計	158	123
経常利益	1,448	1,236
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産処分損	186	13
減損損失	121	3
その他	38	1
特別損失合計	346	18
税金等調整前四半期純利益	1,101	1,220
法人税、住民税及び事業税	574	397
法人税等調整額	△8	71
法人税等合計	565	469
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△18	7
四半期純利益	554	743

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,101	1,220
減価償却費	494	501
減損損失	121	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63	△71
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20	23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△246	△8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	91
受取利息及び受取配当金	△120	△125
支払利息	105	73
有形固定資産除売却損益(△は益)	186	13
売上債権の増減額(△は増加)	△5,237	△3,300
たな卸資産の増減額(△は増加)	△449	70
その他の資産の増減額(△は増加)	△316	△461
仕入債務の増減額(△は減少)	4,138	2,863
その他の負債の増減額(△は減少)	796	87
その他	17	36
小計	489	1,016
利息及び配当金の受取額	118	125
利息の支払額	△104	△72
法人税等の支払額	△703	△984
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199	85
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△189	△363
有形固定資産の売却による収入	77	4
有形固定資産の除却による支出	△94	△8
投資有価証券の取得による支出	△153	△42
子会社株式の取得による支出	—	△1,475
関係会社株式の売却による収入	175	7
貸付金の回収による収入	39	51
その他	△5	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152	△1,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	251	872
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△500	—
長期借入れによる収入	1,200	405
長期借入金の返済による支出	△893	△391
配当金の支払額	△368	△368
その他	△29	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△340	465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△701	△1,305
現金及び現金同等物の期首残高	3,770	3,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,068	2,473

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	商事部門 (百万円)	ホテル部門 (百万円)	不動産部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	87,591	3,236	559	91,386	—	91,386
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11	—	40	52	(52)	—
計	87,603	3,236	599	91,439	(52)	91,386
営業費用	86,208	2,942	102	89,252	740	89,993
営業利益	1,395	293	497	2,186	(793)	1,393

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	商事部門 (百万円)	ホテル部門 (百万円)	不動産部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	85,379	2,837	557	88,773	—	88,773
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9	—	32	41	(41)	—
計	85,388	2,837	589	88,815	(41)	88,773
営業費用	84,047	2,756	93	86,896	712	87,609
営業利益	1,340	81	496	1,918	(754)	1,163

(注) 1. 事業区分の方法

事業は市場及び販売方法の類似性により区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な内容

事業区分	主要な商品及び役務
商事部門	米穀、小麦粉、食品、砂糖、雑穀・澱粉、飼料・畜産、油脂、化成品、燃料、運送業等。
ホテル部門	ビジネスホテル、レストラン、ボウリング場等。
不動産部門	賃貸ビル、営業倉庫。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社等がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社等がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 四半期連結販売実績

(単位：百万円、%)

区 分	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	前年同期比 (%)
食品 (酒類・飲料含む)	55,928	55,929	100.0
業務用商品	12,652	14,046	90.1
飼料・畜産	8,169	8,815	92.7
米穀	8,628	8,800	98.1
商事部門計	85,379	87,591	97.5
ホテル部門	2,837	3,236	87.7
不動産部門	557	559	99.6
合 計	88,773	91,386	97.1

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。